

各都道府県研修担当課 } 御中
各市区町村研修担当課 }

総務省地域力創造グループ地域政策課
環境省大臣官房地域政策課

「地域脱炭素研修（自治大学校特別研修）」の実施について

平素より、当課の業務運営に格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和 8 年 10 月 7 日（水）から 9 日（金）にかけ、総務省自治大学校の協力を得て標記「地域脱炭素研修」を下記のとおり開催いたします。

本研修では、専門家からの講義を通じて、地域に裨益する再エネ導入等の考え方やビジョンの作り方等をテーマに実施します。

貴団体の今後の地域脱炭素の取組を担う職員育成にも大変有意義な機会であり、貴団体職員の本研修への参加につきご検討いただきますようお願いいたします。

記

1 研修概要

別紙 1 のとおり

2 受講費用等

寄宿舍利用費 6,000 円 (※1)

受講決定後、別途請求書を送付いたします。

上記の他、交通費及び食費等 (※2) については、各自ご用意ください。

なお、研修経費の徴収については、自治大学校施設の管理・運営業務における委託事業者として、一般財団法人自治研修協会が行っておりますので、ご了承いただければと存じます。

※1 納入金は、施設・設備維持管理等の寄宿舍管理運営経費に充てるものです。

※2 自治大学校の食堂を利用した場合は、1 日当たりの食費（朝・昼・夕）が 1,800 円程度になると見込まれます。（実際には、食堂では金額の異なる複数のメニューを用意しており、食費は食事の都度、研修生が支払います。）

なお、夕食は弁当のみとなります。（事前予約制）

3 申込期間

令和 8 年 7 月 31 日（金）から令和 8 年 9 月 2 日（水）17:00 まで

4 申込方法

別紙 2 に必要事項をご記入のうえ、総務省地域力創造グループ地域政策課 米原あて次のメールアドレスまでご提出ください。

電子メール chisei@soumu.go.jp

メールタイトル「(自治体名)地域脱炭素研修の申し込みについて」

(問い合わせ先)

総務省地域力創造グループ地域政策課

担 当 : 米原

電 話 : 03-5253-5523

メー ル : chisei@soumu.go.jp

地域脱炭素研修

1 趣旨

令和7年2月に改定された「地球温暖化対策計画」に、地域脱炭素を推進する中で顕在化してきた地方公共団体における専門人材の不足や、再エネ導入に伴う地域トラブル等の課題のほか、ペロブスカイト太陽電池など新たな脱炭素技術等への対応が盛り込まれました。同計画では、2026年度以降2030年度までの5年間を実行集中期間と位置付け、脱炭素先行地域と脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を始めとする地域脱炭素の推進など、必要な施策の実行に取り組むこととされています。とりわけ、人材面の国の支援として、地方公共団体において地域脱炭素の実現を担う中核人材を育成するための研修を実施することとされています。

本研修は、地域脱炭素の取組等に関する専門家等からの講義を通じて、脱炭素施策を企画し、職場に提案いただくことをゴールに実施します。

2 研修科目

地域脱炭素をはじめとしたGX分野の専門家や地域脱炭素に取り組む自治体職員からの基調講演・事例紹介、グループワークの実施を予定しています。

3 対象

地域脱炭素の取組を加速化させるために、関連施策に携わる自治体職員等

4 研修会場及び実施期間

会場：総務省自治大学校（〒190-8581 東京都立川市緑町10番地の1）

期間：令和8年10月7日（水）から令和8年10月9日（金）

5 定員

30名程度

※受付は先着順となります。

6 申込みできる研修生等の数

原則として各団体1名

7 申込みの基準

本研修に参加するものについては、次の基準を満たすものとします。

(1) 勤務成績が優秀であり、かつ、自治大学校での研修生活（学校生活及び寮生活）を支障なく行うことができる者であって、高度の研修を受けさせるにふさわしい者

(2) 積極的な学習意欲を有する者

8 スケジュール及び研修科目

スケジュール及び研修科目は、次のとおりです。ただし、実際の研修実施にあたり変更する場合があります。なお、研修は全寮制の宿泊研修により行います。

○スケジュール及び研修科目(予定)

※スケジュールについては当日の状況により、前後する場合がございます。

日程・時間・研修科目

10/7 (水)		11:00～13:00	【受付・入寮手続き】
	4 限	13:00～13:50	【オリエンテーションなど】
	5 限	14:00～14:40	【専門家講義①】 講師：一般社団法人ローカルグッド創成支援機構
	6 限	14:50～15:50	【ワーク①（グループ）】ビジョン確認：地域特性・脱炭素を手段としたまちづくり
	7 限	16:00～17:00	【専門家講義②】脱炭素施策、現状分析の方法 講師：一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 【ワーク②（個人）】現状分析：地域の温室効果ガス排出量推移・REPOS、地域経済循環分析などを踏まえた地域特性
	8 限	17:10～18:10	【ワーク③（個人）】ビジョン・現状のまとめ、地域にあった脱炭素施策の検討
		18:30～20:00	夕食会(自治大学校食堂、希望制)
10/8 (木)	1 限	8:50～ 9:30	【専門家講義③】初日の振り返り・計画実行のポイント・個別施策に関する参考情報 講師：一般社団法人ローカルグッド創成支援機構
	2 限	9:40～10:30	【ワーク④（グループ）】脱炭素施策を知る
	3 限	10:45～11:50	【専門家講義④】 講師：一般社団法人太陽光発電協会
	4 限	13:00～13:50	【ワーク⑤（個人）】脱炭素施策の優先順位・実現可能性の検討
	5 限	14:00～15:00	【取組紹介①】 ・地域と連携した脱炭素の取組 講師：ヤマトエナジーマネジメント(株) 【取組紹介②】 ・公用車EV化の現状、導入、活用事例 講師：日産自動車(株)
	6 限	15:15～16:25	【取組紹介③】 ・地域新電力会社との連携 講師：鹿児島県日置市 【取組紹介④】 ・地域循環共生圏の取組 講師：環境省地域政策課 【ワーク⑥（グループ）】 ・取組紹介①～④について意見交換
	7 限	16:35～17:25	【トピック別情報交換会】 講師や研修生が中心となったトピック別の情報交換会 興味・関心のあるカテゴリの情報提供・課題共有など
	8 限	17:35～18:25	【ワーク⑦】 最終日の施策発表・意見交換に向けたブラッシュアップ等 ※終了後に懇親会（任意参加）を予定
10/9 (金)	1 限	8:50～10:00	【ワーク⑧（グループ）】 脱炭素施策：ロールプレイングでの施策に対する意見交換
	2 限	10:10～10:50	【ワーク⑨（グループ）】 施策の実施に向けて：グループ内での共有・意見交換
	3 限	11:00～12:00	【情報提供等】 総務省・環境省より施策情報、アンケート、講評

※トピック別情報交換会について

トピック別情報交換会とは、複数のトピック（例えば「公共施設の脱炭素化」「行動変容」「地域新電力」など当日提示）のうち、興味・関心のあるトピックを選択し、トピックごとのグループに分かれて情報交換を行うもの。各自治体の取組や課題を共有し、今後の取組の参考や施策のヒントにするほか、横のつながりを深めることを目的とする。講義と異なり、まとめや発表などの作業はない。

○事前にご覧いただくことが望ましいもの

（必須ではありませんが、研修効果を上げるため事前の確認をおすすめします）

- ① 地域経済循環分析自動作成ツール (<http://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/bunseki/>) を用い、自団体の分析結果を確認すること
- ② 地域経済循環分析と脱炭素に関する動画3本を視聴すること
 - ・地域を強くする 地域循環共生圏(8:34)
<https://www.youtube.com/watch?v=xfn0lwhTg18>
 - ・地域を強くする 地域循環共生圏～土湯温泉編～(5:19)
<https://www.youtube.com/watch?v=Cf7GwfFcNQE>
 - ・地域を強くする 地域循環共生圏～日田市編～(5:18)
<https://www.youtube.com/watch?v=aYkGTUISHUI>
- ③ 自団体の地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編、区域施策編）を確認すること
- ④ 自治体排出量カルテの自団体分を出力し、内容を理解しておくこと
https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/karte.html